



臨床医学研究のお知らせ

聖路加国際病院では、将来の医療を向上させるため、臨床医学研究を行っています。つきましてはご理解の上、ご協力をお願い申し上げます。なお、個人情報を厳重に管理させていただきます。

研究計画や研究方法に関する資料をお知りになりたい場合は、他の患者さんの個人情報や研究全体の目的や進行に支障となる事項以外はお知らせすることができます。ご質問がありましたら下記連絡先にお問い合わせください。

この調査では、ご協力を拒否することも自由です。もし、研究へのデータ・試料の利用を望まない場合は、下記の連絡先までご連絡いただくか、医療スタッフへ申し出てください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

【照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先】

住所：〒104-0044 東京都中央区明石町 9-1
電話：
担当者の所属・氏名

【研究責任者】

聖路加国際病院 眼科 大越 貴志子

削除: ▲▲科

削除: 研究 太郎

削除: 【研究代表者】 .

〇〇大学大学院医学系研究科△△講座
◇◇ .

眼の病気に対して注射治療を実施した方を対象とした 研究

1.研究の対象

2015年1月～2017年3月に、当院で眼の病気に対して、眼内注射による治療をした患者さん

2.研究の目的・方法

2015年に眼の病気の種類の1つとして Pachychoroid neovascuopathy (PNV) という病気の概念がうまれました。現在、この病気に対しての診断基準や治療法が確立されていませんが、抗 VEGF という種類の薬剤による治療(眼の中に薬剤を注射します。)で効果があるという報告がされています。当院でも PNV の方に抗 VEGF の治療をしておりますので、そのデータを調査したいと思います。

なお、この調査では通常の保険診療以外の医療行為はなく、診療録(カルテ)に記載される内容についての調査のみとなります。調査期間は研究倫理審査委員会承認後～2018年3月31日までの予定です。

3.研究に用いる試料・情報の種類

本研究で収集する主なデータ項目は以下となります。

《情報》 病歴、治療歴、視力などの眼科的検査、副作用等の発生状況、カルテ番号 等

削除: ●●

削除: の

削除: ▲▲に関する

書式変更: 行間 : 倍数 1.25 li

削除: 1)

削除: まで

削除: 外来にて通院治療したCSC患者

削除: 2) 両眼ともに中心窩下脈絡膜厚(CCT)が200 μ m以上 .

3) ドルーゼンがなく色素上皮異常を呈する .

4) フルオレセイン・インドシアニングリーン蛍光造影にてCNVを認める症例 .

・ 研究対象者が情報公開文書を見て「自分が対象かどうか」が一目でわかるように記載してください。 .

(例 1) 2009年1月～2015年8月に当院で心臓カテーテル治療を受けられた方 .

削除:

コメント [SMILE1]: 患者さんが判るように、平易に変更いたしました。

削除: 2015年、FreundらはPPEまたは中心性網脈絡膜症(CSC)から生じたと考えられる

削除: .

現在 PNV の診断基準や治療法については

削除: .

書式変更: インデント : 左 : 0 mm, 最初の行 : 2.5 mm, 行間 : 倍数 1.25 li

削除: 20

書式変更: 行間 : 倍数 1.25 li

削除: .

抗 VEGF 治療を行った患者の、視力

削除: ・ 研究計画書の評価項目から研究対象者がイメージしやすい主要なものをい

削除: 抗がん剤治療の

削除: 《試料》 血液 .

削除: .